

広報

# こうか消防119

甲賀広域行政組合消防本部からの情報を発信します！

2026  
2月  
第55号

隔月1回  
15日発行



## 一年の始まりに変わらぬ使命

本消防本部では、本年1月5日(月)『年頭視閲式』を開催しました。この『年頭視閲式』とは、年頭に当たり、職員の厳正な規律の保持と士気の高揚を図るもので、例年実施しています。式典では、各職員が管理者である松浦湖南市長、本消防本部藤川消防長による年頭訓示と視閲を受け、安寧・安全なまちづくりへの気持ちを新たにしました。

また、1月11日(日)には甲賀市で、1月18日(日)には湖南市でそれぞれ消防出初式が執り行われました。消防出初式は、年頭にあたり消防団員や消防職員をはじめとする防災関係者の団結と士気を高めるとともに、住民の防火思想の普及を図ることを目的に毎年両市で執り行われている式典です。式典では、分列行進や車両パレード、消防団員に対する表彰の他、滋賀県消防協会甲賀広域支部が甲賀市及び湖南市の小学校6年生を対象に実施しました「2025夏休みこども防火せんりゅう」の各入賞者に対し、表彰式を実施しました。今後も全職員がより一層結束を高め、消防業務に取り組んでいきますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いします。



## 安心の灯を今年も地域へ



## 文化財防火運動に係る各種事業を実施しました！



本消防本部では、市民共に文化財の災害から守ることを目的として文化財防火運動を実施しました。1月23日から29日までの7日間、文化財防火デーとされた1月26日、現存する世界最古の木造建築物である法隆寺の金堂で火災が発生し、貴重な建物や文化財が焼失しました。昭和24年から29年にかけてはボスター配布、貴重な建物や文化財の関係者との合同訓練などを実施されました。この運動は、文化財の保護に関する意識を高めるためのもので、文化財の重要性を改めて認識する機会となりました。

# 消防職員意見発表会本部選考会



消防署 福岡副士長と湖南中央消防署  
富井消防士は、2月5日に開催される  
第51回滋賀県消防職員意見発表会に出  
場しました！

なお、県大会の結果については、本  
消防本部公式SNS等でお知らせして  
います

◆『思いやりのある職場環境』と題し、相手の気持ちに目を向け、言葉にし、支え合う環境を作ることで思いやりのある職場を作ることを提倡しました。

◆甲南消防署 伊室舜将消防士は『アジャイル型ポンプ操法』と題し、ポンプ操法において指導員と団員がともに課題を抽出し、PDCAサイクルにより探索・適応を繰り返すことで、多様な災害に対応できる能力を身に付ける指導方法を提案しました。

◆水口消防署 福岡紫恩副士長は『感謝で深める絆の輪』と題し、感謝を伝えることで職員同士の絆やチームとしての一體感を深め、強い組織を構築する」ことを提唱しました。

本部選考会では、各消防署から選出された代表4名の職員がさまざまな視点から意見を発表しました。信楽消防署 山田照伊副士長は『使われてこそ価値になる』と題し、消防行政におけるDX化の推進を提案しました。

令和7年12月17日（水）、第51回滋賀県消防職員意見発表会出場に係る本部選考会を開催しました。



令和7年甲賀消防管内  
災害発生状況(12月末現在)

火 災	84件
救 急	6,461件
救 助	119件
その他	398件



3月1日～3月7日



いろい  
ろ情報板  
Information